



3

2015 March

No.512

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

モニター会議 ご提言を受けて



モニター提言書・回答書



大瀬会長へ回答書提出

昨年11月 モニター会議にて提出いただきました提言書に対し、1月27日(火) 病院側から回答・報告させて頂きました。

提言書は、これまでモニター会議で出された病院運営に対する意見・要望をまとめてあり、施設・設備、医療設備と医療技術の充実、防災・防犯、医療事故防止など21点が挙げられました。会議では当院の下川副院長より大瀬敏克 会長へ回答書を提出、事務局より提言に対する回答を一つずつ説明致しました。

～ご提言を受けて～

本年1月5日、JCHO 理事長より全国57病院2万8千人に「我々全国ネットのJCHOは地域の住民、行政、関係機関と連携し、地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します。」と新しい理念の通達がありました。

「全国ネット」という言葉にはJCHOが57の病院グループであるメリットを生かした運営をしていく思いが込められています。「連携」は、地域の住民、市町村、都道府県等の行政、地域の医師会、医療機関、介護施設・事業所、大学等の関係機関との「顔が見える関係」をさらに強化し、

施設完結型ではなく地域完結型のシステムを構築していく姿勢を表しています。「地域医療」は狭い意味での医療に限らず、予防からリハビリ、介護を含むシームレスなケアを意味しています。地域医療の抱えている課題やニーズは、時代とともに常に変化していきます。こうした変化する課題・ニーズに対応するには、自らを日々新たにしていく「改革」の意識と行動が不可欠であり、具体的な内容は、それぞれの地域の課題・ニーズをしっかりと受け止め、皆で知恵を絞り、力を集結して果敢に取り組む意味を込めて「改革」の言葉が使われました。

今回のご提言の結びに、「今後更なる地域住民や行政との連携の強化ではないだろうか。人吉医療センターが地方における中核的病院として全国モデルとなるような充実した病院となることを期待したい。」と記していただいております。

JCHOの理念と皆様の思いは一つであることや人吉医療センターに期待して下さることに喜びを感じ、今後も邁進して参ります。

モニター委員の皆様におかれましても、今後ともお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

院長 木村 正美

臨床研修医 修了挨拶

2年前の4月、右も左もわからない中で、医師としての一歩をこの地で踏み出してから今まで、先生方をはじめ、スタッフの方々、患者さんから多くのことを学ばせていただきました。人吉での生活は初めてでしたが、緑にあふれた自然豊かなこの土地でのびのびと自由に研修を送ることができて大変感謝しています。

この2年間、最初の1年はとても長く感じ、最後の1年はあっという間に過ぎてしまいました。

医師になって初めての救急外来の夜は何もわからず汗だくになりながら、ただただ時間が過ぎるのを祈っていたことを今でも覚えています。周りの研修医が上手にこなせるようになっていくのを見ながら、成長の遅い自分に焦る気持ちと苛立つ時期もありましたが、周りの方々に支えられ、教えていただいたおかげで何とか成長することができました。

今年3月で2年間の研修を終えることになりました。研修が始まった頃は、殆ど何も分からず、焦ってばかりいました。特に救急外来当番は来るたびに苦痛を感じ、このまま医師としてやっていけないと感じることが多々ありました。しかし研修も2年目になると出来ることが少しずつ増えてきて、医師としての仕事を楽しめるようになりました。先生方をはじめとスタッフの方々に支えられてきた結果だと思います。非常に感謝しております。

また学会も数多く参加させて頂きました。最初の沖縄での学会発表は、緊張のため思うようにいかなかったのですが、最後の大分での学会発表では自分の成長を実感

昨年4月から初期臨床研修医として赴任し、あっという間に一年が過ぎてしまいました。この一年は一言で表せば「ひな鳥の一年」でありました。学生から僻ったばかりのヒヨコな私でありましたが、指導医の先生方やスタッフの皆さん、患者さんから、教科書では学べない多くの事を教えていただき、一步一步成長することができました。セミナー企画や、研修会や学会での発表、海外研修など貴重な機会を頂くこともありました。また、病院外では、青年会議所を中心として、地域のメンバーと活動の場を通して、人間性や問題解決能力を切磋琢磨しあうことができました。時には人吉球磨の美味しいごはんと球磨焼酎（本当に美味しかったです）、幾つもの温

左から 橘先生、木村院長、片山先生、香田先生



4月からは小児科医としての一歩を踏み出すことになります。またいつの日か、育てていただいた恩返しができるよう、ここで学んだことを糧としてしっかりと成長していくつもりです。2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

人吉医療センター 基幹型臨床研修医 橘 秀和

できました。また学会を利用していろいろな地域に行くことができ、様々な経験ができました。

人吉は自然に囲まれた地域であり、ドライブが好きな私にとっては非常に魅力的な土地でした。特にループ橋には、ほぼ毎日出かけ、眺めのよい景色を楽しみました。食事もおいしく、振り返れば人吉での生活は非常に充実したものとなりました。

4月から熊本大学で整形外科医として勤務することになります。今度は整形外科医としていつか人吉に貢献できればと考えております。2年間大変お世話になりました。

人吉医療センター 基幹型臨床研修医 片山 修浩

泉で羽を休めながら…（温泉好きにはたまりません）。この歴史と伝統ある地で、ひな鳥の大事な時期を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。生まれも育ちも熊本市内の私にとって、この人吉球磨の地は第二の故郷です。

これからも、医療の現場で働ける環境に感謝して、愚直・素直の一念で、一所懸命進んでいきたいと思っています。4月から大学病院での勤務となりますが、この地で培った感性と育てた翼で、新天地を翔け巡っていききたいと思います。

熊本大学医学部附属病院 臨床研修医 香田 将英
(人吉医療センター 協力型研修医)

緩和病棟ひなまつり

緩和病棟にて2月末～3月中旬にかけ、ひなまつりの飾りつけを行いました。

3月3日にはひなあられを配り、ご家族とともに記念写真の撮影を行い、和やかなひとときとなりました。



人吉医療センター DMAT 新たに看護師 1 名誕生！

「日本 DMAT」という組織があることをご存じでしょうか。

平成 7 年に起きた阪神淡路大震災では、重量物に手足を挟まれ現場での切断もできず火の手に巻き込まれた例、被災地内で適切な初期医療を受けられぬまま命を落とした例、救急隊が救出した後に急変し心停止に至った例など、「予防できる被災者の死」が多く存在しました。DMAT はこの震災での教訓をもとに、トレーニングを受けた医療救護班が被災地に出向く事で、少しでも多くの人を救命する事を目的に組織された災害派遣医療チームです。

今回、兵庫県災害医療センターで開催された隊員養成研修に参加し、日本 DMAT 隊員の一員となることができました。

人吉医療センターには、平成 19 年より DMAT が整備され、現在では自分を含め 8 名・2 チームが登録されて

います。また日本全体では約 8000 名の隊員・1500 チームが登録されています。記憶にも新しい東日本大震災でも約 1900 人（383 チーム）が被災地の支援に入り、被災者の医療や健康管理などに大きな役割を果たしました。

人吉球磨では高速道路での多重事故や水害、また近年中に発生の確率が高いとされる南海トラフ地震は、熊本でも震度 6 前後、3000 棟以上の家屋が倒壊するとも予想されています。こういった大規模災害発生時に一人でも多くの命を救い地域に貢献できるよう、訓練や技術の向上に邁進したいと思います。

5 階病棟 看護師 立開 光義



第 20 回日本集団災害医学会総会

平成 27 年 2 月 26 日（木）～28 日（土）第 20 回日本集団災害医学会総会学術集会に参加しました。阪神・淡路大震災から 20 年、本学会の設立から 20 周年、DMAT においても創設から 10 周年という節目の年になる今回は、“東北に学び首都直下・南海トラフに備える”と題され、日本国内外から約 2300 名の参加がありました。

災害医療・救急医療・大規模事故・テロ・海外医療派遣・防災・放射線被ばく医療に至るまで、一般演題・シンポジウム等含めて 628 題の幅広い発表があり、発表者も医療関係者に留まらず自衛隊、消防、自治体公務員など多岐に渡りました。

大規模な災害・事故に対しては各職種の専門性を活かすとともに、各機関で連携し国民の生命及び財産を守っていかなくてはなりません。医療に関しては発災直後の超急性期・急性期医療のみならず、亜急性期・慢性期医療、被災者の食・住環境からくる慢性疾患悪化の予防・治療、環境衛生、精神ケア等、幅広い視点で被災者の救済を考える必要があります。医薬品の安定供給という一つの事例を考えても、東日本大震災の際、全国から運ばれた大量の医薬品や物資に対して薬剤師の不足によりその

有効活用ができませんでした。現在では災害医療チームに薬剤師を加える動きも活発化しています。

また日本全国で「災害薬事コーディネーター」の設置が推進されています。熊本県においても、昨年 8 月に熊本県と熊本県薬剤師会との間で「大規模災害時における災害支援活動に関する協定」及び「熊本県災害薬事コーディネーターの派遣に関する協定」を締結し、締結後に行われた南海トラフの巨大地震を想定した広域搬送訓練にも災害薬事コーディネーターが参加しました。そこでは内服薬だけでなく輸液、注射剤の確保、さらには医療用酸素やシリンジポンプ、心電図モニタ、人工透析器等の医療資器材の手配も薬剤師が担いました。医薬品と医療資器材、薬剤師を的確に被災地へ届けることで医療を円滑に進める事が目的となると考えますが、その歩みはまだ始まったばかりです。

南海トラフ地震は今後 30 年の間に 60-70% の確率で発生すると予想されており、防ぎ得る災害死を少しでも減らすために薬剤師として出来る事を通して貢献していきたいと考えます。

薬剤科 薬剤師 上野 直哉



H27 年 3 月 19 日 18 時～当院講堂どうあんにおいて、当院退職者送別会を開催しました。

3 月 31 日付で医師、看護師、事務スタッフ含め、20 名が退職となります。20 年近く勤務された方もおり、思い出話に花を咲かせていました。



退職者へ記念品（青井阿蘇神社お守り）贈呈

断煙外来、やっています。

春風が心地よいこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

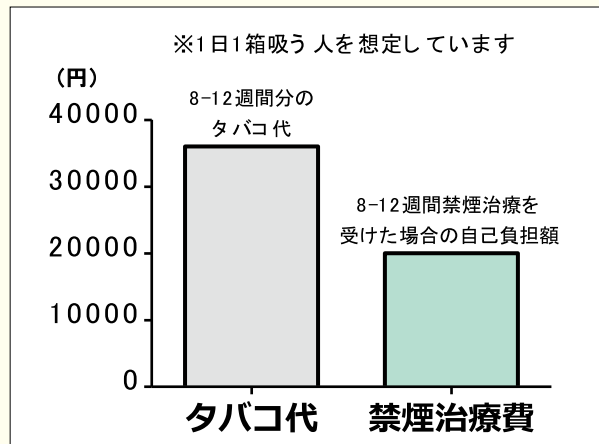
喫煙は「百害あって一利なし」といわれるほど害の多い嗜好品です。さらに、依存性も強いいため、一度吸い始めると簡単には止められないのもまた事実です。喫煙がやめられないのは単なる嗜好や習慣、意志の弱さによるものではなく、タバコの煙に含まれるニコチンの強い依存性によるものであることが明らかになっています。ニコチンは、麻薬にも劣らない依存性をもつ物質なのです。「ニコチン依存症」という疾患にとらえ、2006年から禁煙治療は保険適用となり自己負担費用が少なくなりました。

禁煙治療（自己負担3割として）は、8～12週間で13,000円～20,000円程度です。1日1箱喫煙する方なら、8～12週間分のタバコ代より保険診療で禁煙治療を受けた場合の自己負担額のほうが安くなる計算になります（図1）。

当院では毎週月曜日、「断煙外来」をひらいています。私たちと一緒に「断煙」をしてみませんか。

診療日：毎週月曜日 午前10時～（要電話予約）
予約・お問い合わせ先：人吉医療センター 断煙外来 /
TEL (0966) 22-1900

循環器内科 堀尾 英治



お知らせ ～ピロリ菌除菌療法について～

2010年のがん統計では、日本人で一番罹患率の高いがんは胃がんという結果が報告されています。（性別、年代別では異なる）

胃がんに関しては、ピロリ菌の有無が胃がんの発生に関与することもデータとして示されており、近年ではピロリ菌の除菌に関して健康保険の適応が拡大されました。ピロリ菌が常在していることで、必ず胃がんを発生するというわけではありませんが、胃がんを発生するリスク因子があれば、事前に回避することは予防医療の観点からも非常に重要なことだと言えます。

当地域におきましても、ピロリ菌除菌療法を希望される住民の方が増えつつあることから、予約センターでは

人吉・球磨・えびの市・小林市・伊佐市の医療機関130病院にアンケートでピロリ菌除菌治療実施の有無に関する調査をおこないました。結果104病院から回答をいただき、人吉市・球磨郡61医療機関、えびの市・小林市22医療機関、伊佐市21医療機関がピロリ菌除菌療法を実施されていることが分かりました。

地域の多くの医療機関でもピロリ菌の除菌療法をされていますので、健診でピロリ菌がいると判明したら、早めにかかりつけ医療機関やお近くの医療機関に相談し、ピロリ菌除菌療法を受けましょう！

医療機関が分からない場合には、予約センター（0966-22-7878）までご連絡ください。

個人情報勉強会

平成27年3月2～4日、当院講堂にて富田薬品株式会社 松山昌司氏を講師にお迎えし、院内個人情報勉強会が行われました。

今回の個人情報勉強会では、過去に実際に起こった個人情報漏洩に関する幾つかの事例から学ぶべきことや留意点について、また個人情報保護法を基に病院や個人が守らなければならないことや個人情報の安全管理措置として考えられる事などを講義していただきました。日頃の業務の中で使用している電子媒体の管理徹底の重要性やソーシャルネットサービスの利用による個人情報漏洩

の危険性、個人情報を取り扱う者として守らなければならないルールについて学ぶことが出来ました。

また、万が一不適切な個人情報の取り扱いが行われた際、苦情への対応を行う窓口機能等の設備や苦情対応の手順マニュアルの作成をするなど、起こってしまったときの対応も重要になるということを改めて確認することができました。

今回学んだ事を日々の業務に生かし、個人情報を取り扱っているという意識を常に持ち責任ある行動を心がけたいと思いました。

医療クラーク 池田 春奈

手術実績報告

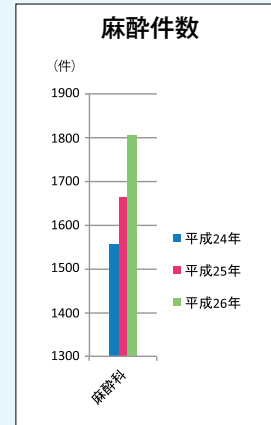
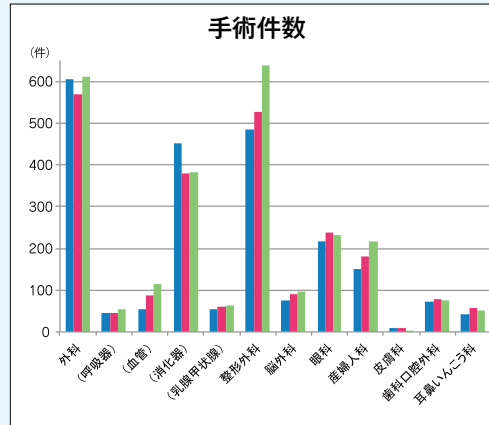
当手術室では、各科医師、麻酔科医師をはじめ、看護師や手術看護認定看護師、手術室の機器管理、医療機器のセッティング・操作等を行う臨床工学技士を配置し、チーム医療を展開しています。

近年では、鏡視下手術・日帰り手術の増加、高齢者・

ハイリスクの患者の増加により高度な麻酔管理が必要となってきました。手術件数も年々増加しており、各科、手術室、ICU、各病棟スタッフと連携しながら周術期管理を行ってまいります。

麻酔科 西村 有香

手術件数	平成24年	平成25年	平成26年
外科	604	570	612
(呼吸器)	44	44	54
(血管)	54	87	113
(消化器)	452	380	381
(乳腺甲状腺)	54	59	64
整形外科	485	527	637
脳外科	76	91	96
眼科	216	237	231
産婦人科	151	180	216
皮膚科	10	9	1
歯科口腔外科	73	79	76
耳鼻いんこう科	42	58	50
麻酔科	1557	1662	1806



熊本大学医学部 特別臨床実習

(地域医療)

地域医療実習の締め括りとして、一週間人吉医療センターで実習させていただきました。内科・救急外来、病棟、診療所、訪問看護、薬剤部など、人吉の地域医療を様々な方面から学ばせていただける、大変充実した実習内容となっております。

人吉医療センターは、県南の広範囲の地域の急性期の病院であるだけに、多くの患者さんに頼りにされる一方、一人ひとりの先生方の負担は市内の病院に比べると大きくなってしまっていると感じました。その中で、先生方は専門に関わらず幅広い知識を持ち、患者さんの多岐にわたる疾患を総合的に診ておられました。また、指導医、上級医の先生方の若手の先生方に対する指導がとても熱心なのが印象的で、働き手にとっても素晴らしい病院だと思いました。

(消化器外科)

一週間、多くの手術の見学および参加をさせていただきました。

ひとつの診療科で幅広い分野の手術をこなされているのが印象的でした。この点が、大学病院との大きな違いなのだとことを知りました。

術中の説明も先生方に随時丁寧にしていただき、どのような処理がなされているか、ということを理解することができました。また、手術室看護師の方々にも大変親切にさせていただきました。

手術以外にも、皮膚縫合、動脈採血、腹腔穿刺といった手技について指導していただき、一部実際に経験させていただきました。うまくできなかったこともあったので、また勉強して次に行うときには上手いように頑張りたいと思いました。

学内実習にて外科に興味を持っていましたが、この一週間でさらに

(地域医療)

1週間お世話になりました。人吉医療センターでの実習を通して、救急医療や地域医療、および総合診療について学ぶことができました。先生方の診療や処置に同行し、間近で見学させていただくことで、座学のみでは得られない知識を身に付けることができました。普段の実習では、すでに確定診断のついた症例について学ぶことが多いので、このような診断学的なアプローチは新鮮で、非常に実践的に感じられました。この経験を生かし、論理的かつ無駄のない診断アプローチを身に付けていきたいです。

実習中は、医師になったら必要なカルテの書き方や患者さんとの接し方、学生時代の経験談や今のうちにやるべきことなど、私たちの将来に役立つようなお話を、たくさん話してくださいました。また研修医の先生方も昼食と一緒に食べてくださったり、手技の指導やオリジナルの講義してくださったりと、とても親切な先生方ばかりでした。

この一週間で人吉の地域医療を知ることができ、またたくさんの医学的な知識、先生方の経験談を聞かせていただき、大変充実した一週間となりました。木村院長、田浦先生を始めとして、人吉医療センターのスタッフの皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

熊本大学医学部医学科 5年 芹川 亜実



芹川さん、久保さん、岡崎さん

興味を抱きました。

救急外来でもたくさん実習させていただきました。患者さんを診察した情報からどのような検査を行うべきかを考え、診断する、というプロセスを先生の横で経験し、大変勉強になりました。

また、研修医の先生方が定期的に行われている、救急の症例検討会にも参加させていただきました。大変勉強になったと同時に、座学で得た知識が実臨床とリンクする瞬間が多々あり、楽しかったです。

研修医の先生方、および外科のすべての先生方から毎日丁寧に指導していただき、大変勉強になりました。また、総務課の谷口さんにもたくさんお気遣いいただき、とても気持ちよく実習をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。

熊本大学医学部医学科 5年 久保 徹

また、火曜日には五木村診療所での診療に同行させていただきました。電子カルテや内視鏡、レントゲン撮影室を備えた施設の充実ぶりを目の当たりにするとともに、お一人ですべての患者さんを診察する中山先生の幅広い知識および手技の技術に驚嘆しました。自分も将来、専門性を備えた医師を目指すのは当然のこと、専門のみならず広く内科全般・外科全般の知識を持った医師になりたいと思いました。この度はお忙しいところ、懇切丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。医局の雰囲気も和気藹々として風通しが良く、とても魅力のある病院だと思いました。また長期休暇などを利用して、ぜひ見学にお伺いしたいです。よろしく願いいたします。

熊本大学医学部医学科 5年 岡崎 太郎

笑って健康促進！
第110回 翔句会開催！

平成二十七年二月開催分の句をご紹介します。
どうぞご鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十七年二月分

- みんな笑顔イキナリダンゴ美味しいね 比呂志
- 強い国好きな総理が居て不安 比呂志
- だんだん緑に球磨の景色が春になる 比呂志
- 年も年免許更新どっちいく 佐津子
- 美味しいと三度の食に感謝する 佐津子
- 誕生日昔喜び今来るな 保義
- 朝散歩犬に引かれて我だれる 保義
- 気がつけばすぐやらないと又わすれ レイ
- 気持ちだけ青春にいる身は白髪 レイ
- 三寒四温待ち遠しいな春すぐだ 智子
- 川柳を作ってみたが自信ない 智子
- 針供養豆腐にとつては災難日 圭子
- 老梅のなお咲く力残しもち 圭子
- 写経して「サクラサク」日を祈る母 緋紗
- レジのまえ財布忘れに恥をかき 緋紗



お知らせ

腎臓内科診療開始

平成 27 年 4 月から第 1、3 水曜日に熊本大学医学部附属病院腎臓内科より医師を派遣していただくこととなり、腎臓内科開設の運びとなりました。

腎臓内科では、高血圧、腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、透析治療など、腎疾患全般の専門総合診療を予定しています。

腎臓内科診療日時

診療日：毎月第 1、3 水曜日

診療時間：9：00～13：00（完全予約制）

※なお、4 月・5 月は第 3 水曜日のみとなります。

ご予約の際は、予約センター（TEL：0966-22-1900）までご連絡ください。

日本医療マネジメント学会

第 14 回 九州・山口連合大会 演題募集開始！

いよいよ今年、日本マネジメント学会 第 14 回九州・山口連合大会を開催します。

まもなく演題募集が開始となりますので、ご案内します。

開催日：平成 27 年 11 月 20 日（金）、21 日（土）

場所：人吉市カルチャーパレス、人吉スポーツパレス

演題募集期間：平成 27 年 4 月 1 日～7 月 31 日

※詳細は日本マネジメント学会 HP（<http://jhm14kyusyuu.umin.jp/>）をご参照ください。

新 任 紹 介



とよはら 豊原 めぐみ（5階病棟・看護師）

最終卒業校：出水中央高校 看護学科

趣味：お菓子作り

生活信条：夢は逃げない 逃げるは自分

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：久々の病院の勤務ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

患者さんに季節をお届けする
行 事 食

当院では入院患者さんにも季節を感じていただけるように行事食を取り入れており、各行事に込められた意味を簡単に説明したメッセージカードを添えて提供しています。このメッセージカードには患者さんが自由に記入できる欄を設けており、厳しいご指摘をいただくこともあります。行事食のおかげで入院中にもお祝い気分を味わえるとの嬉しいお言葉もいただけます。

3 月は 3 日に雛祭り、21 日に春分の日の行事食を提供しました。

栄養管理室 室長 大岩 洋子



3 月 3 日 雛祭り



3 月 21 日 春分の日

2 月のフレッシュマンセミナー報告

- 3/ 5 御手洗 理代「検診」
- 3/19 尾方 かおり「バラの栽培」
- 3/26 矢立 智春「マタニティヨガについて」
- 迫田 愛「アンパンマンについて」

